

## 平成19年度県民意見の提出状況について

宮 城 県

平成19年度に行っている政策評価及び施策評価に係る県民意見の提出状況等は、以下のとおりです。

### 記

1 意見募集期間

平成19年6月11日(月) ~ 平成19年7月20日(金) [40日間]

2 意見提出方法

郵便、ファクシミリ、電子メール

3 関連情報の提供手法及び周知方法

(1) 関連情報の提供手法

インターネットの県のホームページ

県政情報センター(県庁)での公表

県政情報コーナー(仙台以外の各地方振興事務所)での公表

宮城県議会図書室での公表

(2) 周知方法

みやぎ県政だより「県からのお知らせ」(平成19年7月号)

県政ラジオ エフエム仙台(Date fm)「アラウンド・ザ・ミヤギ」

6月28日、7月5日及び12日の放送枠内

東北放送(TBCラジオ)「県からのお知らせ」及び「ラジオ県民だより」

6月15日及び16日の放送枠内

新聞「県からのお知らせ」(6月17日河北新報)

4 意見提出件数

11件(2人から提出)

5 意見の整理の考え方

政策ごとに意見を分類しました。

6 提出された意見の概要

	分野	政策・施策名	意見の概要
1		政策評価・施策評価基本票の要旨 (施策評価の状況について)	<p>・105の施策のうち、特に「ふるさと」分野が「おおむね適切」の割合が多い(ほかは「適切」が2割以上ある)。</p> <p>「政策評価指標の達成度」を見ても、「ふるさと」でAが他の半分ぐらい、Cがほかは1割に満たないのに対して3割となるなど、評価が悪い。</p> <p>全体の評価状況からみていくと、どうも、教育のある「ふるさと」のほか、人の育成(特に次世代層を育成する部分、例えば保育、職業訓練)といった面で、達成度がB、Cとなっているように見受けられる。</p> <p>このような人を育てるところは、今後、より施策を充実させてもらいたい。</p>
2		政策評価・施策評価基本票の要旨 (政策評価指標の状況について)	<p>・(評価状況一覧表に)達成度が低い理由、高い理由があまり記述されていない。たとえばAとなった理由が、県の施策によるものか、社会状況によるものか、わかりにくい。中には社会状況の影響が大きいものもあるのではないか。</p>
3		県民意見の募集方法について	<p>・公共事業再評価や大規模事業評価など他にも意見募集をしている評価がある場合は、広報等に同時に意見募集のお知らせを掲載するのがよいのではないかと。</p>
4	くらし	(政策整理番号9) 環境負荷の少ない地域づくりの推進	<p>・A-1「施策群設定の妥当性」で「課題あり」となっている理由がわかりにくい。</p> <p>”「環境負荷を減らすための仕組みづくり」については、施策分野において仕組みがことなり、施策分野を横断した政策評価指標の設定が困難であり”とあるが、「政策8 地球環境の保全」における「施策5 環境教育の推進、環境情報の提供」「施策6 環境に配慮した生活様式、事業活動の推進」の位置付けと同じように見える。ほかの政策とも照らし合わせ、ここで「課題あり」とする理由がわかりにくい。</p> <p>「各施策に含めて評価する方向での調整」とは、施策1～7の個々において「規制」「調査」について考える必要がある、ということだろうか。</p>

	分野	政策・施策名	意見の概要
5	くらし	(政策整理番号10) 豊かな自然環境の保全・創造 (施策番号1) 自然公園等の優れた自然環境の保全	<p>・ B - 3 事業群の効率性 において、「ボランティアの無償の行為により効果をあげている」という記述が気にかかる。「無償ボランティアは費用がかからないのでよい」と受け止められるので、止めて欲しい。市民は市民としての課題から地域住民の役割として関わっている。住民も役割分担をきちんと担っていることが事業全体として効果をあげている、といった受け止め方ではないのだろうか(住民が関わる必要があるであれば、そのための費用負担が生じて、必要なことである)。</p>
6			<p>・ 同様に、「財団に業務委託することにより、事業費をおさえている」というのも、気にかかる。B - 1で「役割分担されている」の記述が、費用(人件費)が低く抑えられるという役割分担だけのように受け止められる。専門性を生かすことが大きな理由ではないのだろうか。</p>
7	くらし	(政策整理番号11) 循環型社会の形成 (施策番号1) 廃棄物の排出量の抑制	<p>・ 「1日一人あたりごみ排出量」が指標にあげられているが、一般廃棄物の処理は市町村が担当であり、普及啓発も市町村にまかせてもいいのではないかと。もしやるとすれば、予算・職員の少ない市町村がフォローできたかといった、実施地域などを考慮しての評価ができないだろうか。必ずしも、視聴者数だけで評価されるものではないと思われる(視聴者数が県民の数に対して、あまりにも少なすぎるので)。</p>
8	まじわり	(政策整理番号35) 国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進	<p>・ 国際交流とは何なのか、日本人、宮城県民にとってプラスになっているのか、もっとよく考えて欲しい。国際交流のために外国人留学生にお金を渡しているのであれば、その適正な金額を調査したうえで渡して欲しい。日本人より外国人にお金をかけすぎではないか。もっと日本人学生を応援し、日本人や宮城県民のために予算を使った方がよいのではないかと。</p>

	分野	政策・施策名	意見の概要
9			<p>・仙台市では女性医療相談の制度が充実しているが、仙台市以外では女性医療相談の機会が少ないのは不公平だ。</p>
10		政策評価・施策評価以外に関する意見	<p>・毎日道路を直しているのを見かけるが、なぜここを直す必要があるのだろう、なぜ何回も直すのだろうというところが多い。その一方で、直してほしいところは全く手が付けられていない。県でも気づかないところが多いのかもしれないが、県民が気軽にその場所を言える工夫をして欲しい。</p>
11			<p>・車で灯油を販売する騒音に長年悩まされている。警察などに何度相談しても取り合ってもらえなかった。県外にあるその会社にも話をしたが、取り合ってもらえなかった。</p> <p>そのような相談はどこにしたらよいのか。県では対応できないのか。可能なら県のホームページにわかりやすく載せて欲しい。</p>